



おぐら
尾倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和3年10月11日(月)発行
校長 栗原 博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

3年生の皆さんへ～最高の感動を分かち合う修学旅行に～

中学校生活の最後の2年間近くは、新型コロナウイルス感染症との戦いでした。多くの学校行事が中止や縮小、延期になる中で、みなさんは日々の学校生活に真面目に、真剣に、楽しく取り組んできました。でも・・・

さあ、いよいよ修学旅行です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日帰り2日間の旅行ですが、最高の仲間、先生方と最高の思い出を創ってくれることを願っています。

いよいよ修学旅行です！（大分・福岡方面）

さあ、10月14日(木)・15日(金)の修学旅行がやってきます。今年は、新型コロナウイルス感染症防止のため、日帰り2日間の修学旅行です。(みなさんや家族の安全・安心を考えての日程となりました)有意義な2日間にしましょう。



さて、高校入試の面接練習で「学校生活で印象に残っていること」を尋ねると、返ってくる答えで圧倒的に多いのが部活動・体育大会・文化発表会そして修学旅行の思い出です。では、なぜ、それほどまでに修学旅行が強く印象に残っているのでしょうか。

それは、おそらく、日々の学校生活では経験できない印象深い内容がぎっしり詰まっているからだと思います。普段の集団や仲の良い友達と訪れる機会のない場所を訪問し、見学や現地の人々とのふれあいを通じて、それまで本やテレビでしか知ることのできなかった未知の自然や文化、風習を身体で感じ取ることで、強い印象が脳裏に刻まれることと思います。

そして、友だちとの2日間の中で、友だちの新しい魅力を発見したり、人の和の温かさを感じ取ったりすることで、生涯かけがえのない思い出ができると思います。

3年生全員で行く修学旅行は、大きな思い出となって残ることでしょう。すばらしさを体一杯に感じとってきてください。

さらに、訪問先では、たくさんの方々のお世話になるでしょうが、そこでの新たな出会いやふれあいを通じて、大分や福岡の人々の温かい心情に触れることができるでしょう。そして、旅行中でのこれらの貴重な経験を通じて、みなさんが人間的にも一回り大きく成長するものと期待しています。

今回の修学旅行がみなさんにとって、すばらしいものとなるためには、何よりもトラブルのないことが大切です。そのためには、「修学旅行が集団活動であること」「尾倉中の3年生であること」をしっかり自覚し、一人一人が規律ある行動を常に心がけるとともに、健康や事故に十分留意することが大切です。みんなの生涯の思い出に残るすばらしい修学旅行になることを願っています。

集合や活動時の注意です。新型コロナウイルス感染症拡大防止も考え、大切なことは、「指示をしている人(先生や実行委員)」の方を向く」「私語をしない」「点呼は確実に行くこと(欠席者がいないからといって感覚だけで点呼をしない)」「マスクの正しい着用」です。事故やトラブルが一つでもあれば修学旅行の思い出が壊れてしまいます。みんなが協力し合って楽しい修学旅行にしたいものです。

1 一期一会

「いちごいちえ」と読みます。これは茶道に由来する言葉です。「この出会いは、二度と巡って来ないたった一度きりのものだから、この一瞬を大切に今できる最高のおもてなしをしよう」という意味です。この言葉は、茶道を愛した幕末の大老である井伊直弼が広めました。コロナ過であっても、時間は確実に流れ、同じ出来事は二度と巡ってきません。みなさんにとって、たった一度の中学生時代の一回きりの修学旅行だからこそ、最高の修学旅行にしてください。

2 九州(地域)の良さを感じよう

今回の修学旅行は、大分、福岡です。すでに、行ったこともあると思いますが、仲間と行くからこそ、新しい発見もあるのではないのでしょうか。バスの中から見える景色や訪問地、一見何気なく見えるものにも、多くの発見が秘められています。事前に見所をしっかりとチェックし、ポイントをつかんで見学し、地域の良さや素晴らしさを肌で感じてください。

3 感動を分かち合う仲間に

同じ地域に住む仲間と一緒に旅行に出かけるのは、これが最後です。楽しい体験をたくさんしてほしいと思います。楽しさの中に、本気の気持ちがあれば感動や喜びはありません。班別研修はありませんが、班長と班員が本気で協力しなければ成功はありません。みんなが仲間のために少し辛抱し、目標達成に協力すれば、大きな喜びがみなさんを待っています。「やったぞ。楽しかった」と喜び合える瞬間を、仲間との協力によって成し遂げましょう。

4 学校生活の真価が問われる

団体で行動するとその集団のムードが明確になります。旅行先で出会った集団が、だらしない集団なのか、さわやかな集団なのかは、みなさんでも分かるはずですが、団体行動は、日常の学校生活の真価が発揮される場なのです。「規律」「感謝」「情熱」あふれる生徒・学年集団を実践する私たちです。当然ですが、礼儀正しいさわやかな学年と呼ばれたいですね。

5 健康、安全、笑顔で

全員が健康で、ケガなく安全に、笑顔で修学旅行を無事に終わることが一番の目標だと思います。そのためには、全員が仲間を思いやり、協力し合うことが大切です。最高の準備をして最高の喜びが分かち合える修学旅行にしましょう。

北九州市立尾倉中学校 校長 栗原 博巳
(修学旅行のしおり 巻頭言より)